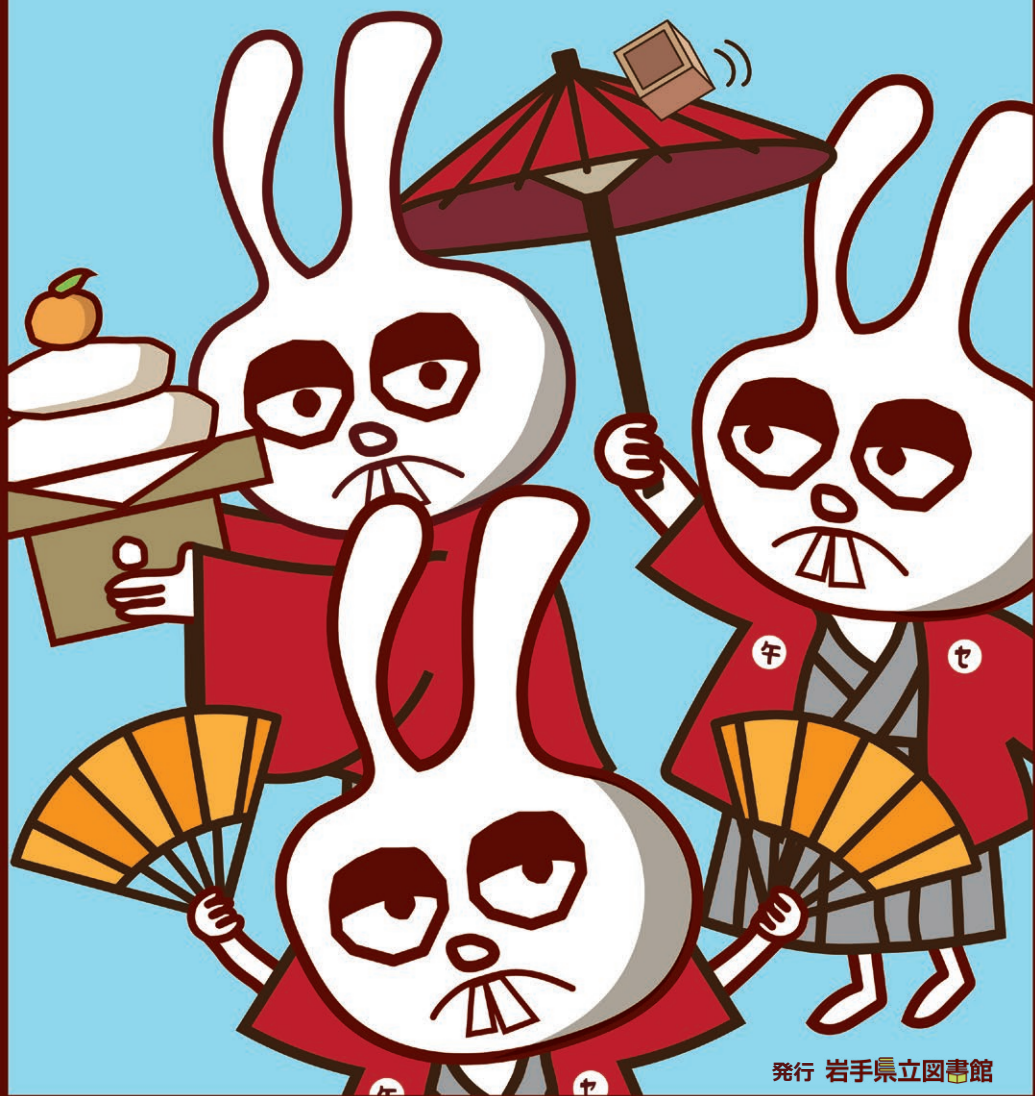


フリー
ペーパー
ペッコ

PECCO

VOL.73 2025.11



発行 岩手県立図書館

図書館探検記 その37
そめちゃんがゆく!



お正月恒例! 本の福袋



お正月といえば、年に一度のお楽しみ「福袋」。実は図書館にも「本の福袋」があるのをご存じですか? スタッフおすすめの本を中身が見えないようにセットにして貸し出す、ワクワクするイベントです。2010年ごろから全国に広まり、今では多くの図書館で行われています。岩手県立図書館でも2014年に初開催して以来、児童コーナーの恒例イベントになりました。今回は、岩手県立図書館で開催した「本の福袋」のこれまでの歩みをご紹介します。



記念すべき
第1回

2014年

2014 初読み☆本の福袋!

～開けてみてのお・た・の・し・み～

おすすめ本の
3冊セット

対象別!
幼児・低学年
中学年・高学年

内容を表すテーマを表示
「たべるのーいすき」
「ハンデコないきもの」など

この頃の紙袋は、スタッフが
持ち寄った袋を再利用して
使ったんだって! エコ!



2019年

わくわくぴよこり本

～そうぞうしてみよう、どんな本かな?～

この年は年齢別に選んだおすすめの本を、表紙の一部と冒頭の一文だけ見えるように包装し展示。借りる人はその情報だけを手がかりに、本の内容を想像しながら選ぶ、遊び心のあるイベントで実施しました。

2015年

2016年

2017年

2018年

紹介文だけを頼りに、
どんな本かを想像して選ぶ
スタイルだね! 楽しそう!

2020年

はつ春おたのしみ企画

子どもたちと図書館スタッフで作る福袋企画を開催!

みんなで福袋用の
本をえらぼう!

お正月の2ヶ月前から準備開始!
福袋に入れるおすすめの本を、来館した
子どもたちに選んでももらいました。

2019/11/1～11/28

みんなでかんがえた
本の福袋 2020/1/4～

子ども達に選んでもらった本と、
スタッフがおすすめする本を
組み合わせて福袋へ!

自分が選んだ本が福袋に
なるなんて楽しい体験だね!

2023年

おきにいのりの一冊はどれ!?
新春わくわく運だめし本

スタッフが選んだおすすめの本を、
タイトルや表紙が見えないよう袋に
入れます。袋の表面には、その本の
魅力が伝わる「紹介文」が貼ってあり
それを読んで、気になる福袋を
選んでももらいました。

「セキネさんと撮っちゃおう」

2023年の干支「うさぎ年」に
ちなんで、岩手県立図書館の
うさぎキャラクター「セキネさん」と
一緒に写真が撮れるイベントも開催!



2021年

2022年

子どもたちと図書館スタッフでつくる
福袋企画を継続して開催。
毎回、テーマや内容に工夫を
こらし、違った楽しみ方が
できるよう企画しました。

だるまさん
ポスト



壁画!

2021年

おみくじを引いて
福袋の本をえらぼう

本のテーマが書かれたおみくじ
を引いて、そのテーマにあった
おススメの本を選んでもらう。

2022年

だるまさんに教えて!
みんなのおすすめ本

「だるまさんカード」におすす
めの本を書いて、「だるまさんポ
スト」に投函。みんなが書い
てくれたカードは壁に貼り、だ
るまさんの形をした大きな壁
画に仕上げました!

とっても大きい
だるま壁画の完成!



2024年

新春よみくらべ福袋
まるでちがう2冊の本
どちらが好きか読んでみて!

「長い」と「短い」、
「イヌ」と「ネコ」など、
対になったテーマの本を一冊ずつ
計2冊のセットにして、
福袋へ。

2025年

新春 幸運福袋!
干支の「巳」にちなみ、
へびが登場する本を紹介した
おみくじ付き福袋!



2026年はどんな
本と出会えるかな?
それは開けてからの
お楽しみ! ぜひ
借りに来てね!





家族の中でひとりだけ

建倉圭介 著／光文社

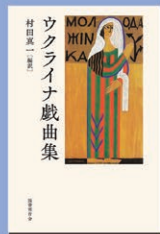
崩壊寸前の家族の家に、凶悪逃亡犯が押し入ってきた。ひとりだけ隠れることができた8歳の末っ子・勇樹は、この状況を打開すべく奮闘します。皆の命を、壊れかけた家族の関係を、救うことはできるのか？ 勇樹の作戦、囚われの家族と強盗の駆け引き、どちらからも目が離せない緊迫のサスペンスです。著者は盛岡市出身です。



人生後半にこそ読みたい秀歌

永田和宏 著／朝日新聞出版

近代、現代の短歌を読み解きながら、人生の様々な時期に人は何を感じ、何を考え、どう生きてきたか、それらがどのように詩の言葉として表現されてきたのか。これから年を重ねていく上で、参考になる一冊です。岩手にゆかりのある石川啄木や大西民子の歌も紹介されています。『一冊の本』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。



ウクライナ戯曲集

村田真一 編訳／国書刊行会

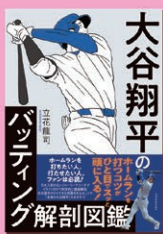
19世紀末から20世紀初頭のウクライナ演劇の3つの作品、『盗まれた幸せ』『カッサンドラー』『リリス』を編訳した戯曲集です。巻末には岩手県出身の編訳者による、作品の解説やウクライナの演劇や文学の歴史が書かれています。作品が作られた当時の情勢などが窺え、演劇を通してより詳しくウクライナを知ることができる一冊です。



ことりつぶ いわて 盛岡・花巻・三陸海岸

昭文社

「週末に行く小さな旅」を提案する「ことりつぶ」シリーズから、盛岡・花巻・三陸海岸をめぐるガイドブックが発行されました。文学の風景や様々なグルメ、豊かな自然を有する岩手を、街から海まで余すところなく紹介しています。2024年9～11月のデータを元に、最新のお店やおすすめスポットを取りそろえた第2版です。



大谷翔平の バッティング解剖図鑑

立花龍司 著／エクスナレッジ

日本人初の元メジャーリーグコーチが大谷翔平選手のバッティングを徹底解剖。“ビッグフライスキル”を完全図解し、打球を可能な限り遠くへ飛ばすにはどうすればよいかを科学的視点から多数のイラストとともに解説しています。大谷選手のバッティングを追体験できる一冊です。



宮沢賢治の動物誌 キャラクターを織り上げる

神田彩絵 著／青弓社

優しいだけではなくこそ美しいイーハトーブ世界で、動物たちはどのように描かれてきたのか？ 東北地方を中心とする日本の伝承、東欧の伝説などの交差を読み解き、日本人の動物観の変遷、そして宮沢賢治が紡いだ独自の動物観を考察しています。動物を通してイーハトーブ童話のルーツを探る、賢治文学への招待状となる一冊です。